



## リーグ規約

独自の柔軟な思考でリーグの参加ができるようにと設立致しました。  
簡単な構想の概要は以下の通りです。

- ・参加チームが全12チームの場合の仮定です。
- ・リーグ戦は県審判協会に依頼し審判を必ずつけること。  
(県審判協会依頼方法は別途記載)
- ・リーグ戦はA・B・Cの3パート制により行う(各パート4チーム)  
各パート2試合総当たり戦に交流戦として他パート8チームと1回戦を行う。  
年間14試合にてレギュラーシーズン終了とする  
プレーオフはA・B・Cパート1位、WCの全4チームにより行うトーナメントとする。  
勝率が同率の場合は  
①当事チーム同士の対戦成績を第一優先とする。  
②対戦成績も同等の場合は、当事チーム同士対戦の得失点差を第二優先とする。  
③第三優先まで同等の場合は、当事チーム同士対戦の失点が少ない事を第三優先とする。  
④交流戦勝率が上位のチームを第四優先とする。  
⑤上記①～④まで全て同等の場合は、決定試合を行う(日程の問題が生じた場合は、代表者同士での抽選とする)。  
トーナメント対戦相手は、各パート1位での最高勝率チームとWCチーム、その他パート1位チームで行う。  
プレーオフで引分けの場合は、9人×9人でのジャンケンで勝敗を決定する。
- ・2～11月にかけて各月リーグ戦1～2試合開催。雨天順延の場合は翌月までに行う
- ・対戦カードを決める年間試合日程を2月中旬までに決定。  
(日程はあくまで目安であり、調整が可能であれば順次試合を行う事)
- ・主催チームを確定し球場の確保・審判の手配を執り行う。
- ・各対戦チーム同パート内チーム2回戦制のうち1試合を主催ゲームとする。
- ・交流試合については同パート以外のチームと1回戦を行う
- ・対戦交渉については球場が確保でき次第(福岡市の場合は16日より)直ちに交渉にはいること。
- ・主催チームは日程が決まり次第、日時と場所をリーグに報告する。(※メーリングリスト活用 件名は「審判手配」とする)
- ・主催チームは試合結果の報告(日時・場所・チーム名・得点結果)をリーグに行う。(※メーリングリスト活用)
- ・監督会議は最低年2回(開幕前・プレイオフ後)
- ・使用球の統一。1試合各チームより2球(06年からの公式球使用。ロストした場合[準新球]を使用とする。  
(メーカーの指定は行わない。但し、既存確保分が終了した場合は、マルエスを推奨する。)
- ・基本的に選手登録をしないので助っ人OK。EHでの10人を越える攻撃自由。ただし、投手の助っ人はなしとする。  
(助っ人の打順については最後尾とする)
- ・リエントリー可能とする。  
(ここでのリエントリーとは、攻撃に参加している選手の守備位置の変更を示し、攻撃に参加していない選手との交代の場合は、リエントリーと認めない。)
- ・限られた時間の中で、試合を行うため、各チームインニング時間短縮の努力をする事。  
(必要以上に打席を外したり、タイムの要求回数減、また攻守交替の際など。)
- ・試合時間が1時間45分を越えた場合、その打者迄で試合終了とし、インニングを終了出来なかった場合は、その前のインニングまでを結果とする。
- ・試合時間予定時間にメンバーが揃わない場合は、最大15分まで試合開始を遅らせる事が出来る事とする。  
(予定時間を15分過ぎた時点で、整列・開始が出来ない場合は、無効試合とし、揃わなかったチームの棄権とみなす。)
- ・試合日程決定後のキャンセルは、1週間前マデを限度とする。1週間を切ったのキャンセルは、キャンセルチームの棄権とみなす。
- ・主催チームが1塁ベンチ・後攻とする。
- ・試合中は必ず帽子(キャップ)を被ること。
- ・試合中、試合球をロストして残りが奇数になった場合、主催チームが多く(2個)もらうこと。
- ・天候・アクシデントにより4回まで成立しない場合は後日再試合を行う。
- ・当日、人数が足りない等で試合が行えない場合、棄権とみなし敗戦扱い(0-9)とする。  
(人の貸し借りで試合が行える場合は練習試合として行い、審判・球場すべての費用は棄権チームが負う)
- ・年会費は3000円とする。
- ・その他詳細は監督会議で話し合いにより決定する。